

mocopi センサーデータレシーバー
Sensor data receiver for mocopiリファレンスガイド
Reference Guide

* 5 0 6 6 1 9 4 1 1 *

©2025 Sony Corporation
Printed in Japan

QM-PR1

日本語

本機の使いかたについて



本機の使いかたは、モバイルモーションキャプチャ (mocopi) のヘルプガイド (Web取扱説明書) をご覧ください。

ヘルプガイド (Web取扱説明書)

<https://rd1.sony.net/help/mobile/qm-ss1/ja/>

安全のために

- ご使用の前に、この「安全のために」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} 」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} 」を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないこと示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。
	ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

! 危険

- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 製品を水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

! 警告

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- USB端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、USBケーブルを抜いてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 警告

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末をパソコンなどから取り外してください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ペットなどがレシーバーやUSBケーブルに噛みつかないようご注意ください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

! 警告

- USBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

! 警告

- 雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。

! 警告

- USBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

! 警告

- 濡れた手でUSBケーブルや端子に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

! 警告

- 端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

! 警告

- USBケーブルをレシーバーに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

! 警告

- USBケーブルをレシーバーから抜く場合は、USBケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、コネクタを持って抜いてください。
USBケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

! 警告

- レシーバーにUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差してください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 警告

- 端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。
また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 警告

- 使用しない場合は、USBケーブルを接続機器から抜いてください。
USBケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちにUSBケーブルを接続機器から抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、USBケーブルを接続機器から抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。



プラグをコンセントから抜く

! 注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用上のご注意

- センサーとの接続が不安定なときは、使用していないWi-Fi®ルーターやBluetooth機器をオフにしてください。センサーとの接続が不安定な場合は、レシーバー同士の距離を取ってください。
- レシーバーはなるべくパソコンから離してご使用ください。パソコンを含む金属物の近くに置くと、接続が不安定になります。
- 広い空間の場合、接続が不安定になる場合があります。その場合はレシーバーをセンサーに近づけてください。
- レシーバーおよびUSBケーブルは防水仕様ではありません。
- レシーバーを設置するときは、USBケーブルの配置にご注意ください。特にUSBケーブルを床に置くときには、足をひっかけたり、踏みつけたりしないようご注意ください。ご使用になる場所により、USBケーブルをテープなどで一時的に固定することをおすすめします。
- パソコンがセンサーを認識しないときは、以下をご確認ください。
 - 同梱されたUSBケーブルを使用してください。
 - ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
 - USBケーブルに異常がないかを確認してください。
 - USBハブの使用は推奨していません。
- レシーバーのLEDが赤色に点灯しているときは、一度USBケーブルをパソコンから抜いて再度差しなしてください。状態が改善しない場合はサポートにお問合せください。
- パソコンに高負荷がかかっているときは、通信が不安定になることがあります。

Bluetooth®機器について

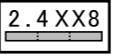
周波数について

本機のBluetooth機能は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzの周波数を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記事項に注意してください。

Bluetooth機能の使用上の注意事項

この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を中止（電波の発射を停止）してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、相談窓口にお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。



この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてその他の方式を採用し、干渉距離は80m以下です。

その他のお知らせ

モデル名とシリアルナンバーはレシーバーの底面に表示されています。

商標について

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

付属品

- USB Type-C™ケーブル(USB-A - USB-C) (1)
- リファレンスガイド(本書)
- 保証書

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書とサポートサイトをご覧になってお調べください。

<https://www.sony.jp/support/>

それでも具合の悪いときは

修理窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低3年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて部品交換をする場合がありますのでご了承ください。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：QM-PR1

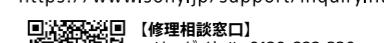
・故障の状態：できるだけ詳しく

・お買い上げ年月日

●各種お問い合わせ（LINEやメールなど）

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/inquiry.html>



フリーダイヤル: 0120-222-330
携帯電話: 一部のIP電話: 050-3754-9599

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品のサポート登録（製品登録）のおすすめ

ソニーは製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るために、製品のサポート登録をおすすめしております。

詳しくはウェブ上の案

How to operate this product



For details, refer to the "Help Guide" (Web manual) for Mobile Motion Capture (mocopi).

"Help Guide" (Web manual)

<https://rd1.sony.net/help/mobile/qm-ss1/en/>

Note! Read this information before using your device.

Product Overview

QM-PR1 is a dedicated data receiver for QM-SS1 (mocopi) using Bluetooth® technology. It is possible to connect the QM-PR1 to a computer and pair it with a mocopi on the computer application to receive sensor data.

Taking care of and using your device

Caution

- Do not place the device inside or near microwave ovens, cooking appliances such as IH cooking heaters, or high pressure containers such as pressure cookers. This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- Do not splash sand, soil or mud, or directly place the device on surfaces. Do not touch the device with sandy hands. This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- Do not disassemble or modify the device. This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- Do not expose the device to liquids such as water (e.g. drinking water, sweat, seawater, urine of pet animals). This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- Do not place the device in a fire or apply heat to it. This may result in a fire, burns, or injury.
- Pierce the device with a sharp object (such as a nail), hit it with a hard object (such as a hammer), or apply excessive force to it such as by stepping on it. This may result in a fire, burns, or injury.

Warning

- Do not apply strong force, impact, or vibration to the device by letting it fall, stepping on it, or throwing it. This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- Do not allow conductive foreign material (metallic fragment, pencil lead, etc.) to come in contact with the USB port or allow dust to enter inside. This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- If any abnormalities such as abnormal odors, abnormal noises, smoke generation, heat generation, discoloration, and deformation are detected during use and storage, pay attention to safety and remove the USB cable. This may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- Disconnect the device from a computer or other devices near electronics that utilize highly sensitive controls or process weak signals. The radio waves may affect electronic equipment, resulting in malfunction.
- *Examples of electronic equipment that you should be careful of: Hearing aids, implantable cardiac pacemaker, implantable cardioverter defibrillator, other electronic medical equipment, and other automatic control equipment. For users of implantable cardiac pacemakers, implantable cardioverter defibrillators, or other electronic medical equipment, check with the manufacturer or vendor how the radio waves affect them.
- Be careful not to allow your pets to bite the receiver or USB cable. This may result in a fire, burns, or injury.
- Do not use the device when the USB cable is damaged. This may result in a fire, burns, or electric shock.
- Do not touch the USB cable when you hear thunder. This may result in electronic shock.
- Do not place heavy objects on the USB cable or apply excessive force such as by pulling it. This may result in a fire, burns, or electric shock.
- Do not touch the USB cable or port with wet hands. This may result in a fire, burns, or electric shock.
- Wipe off any dust on the port. This may result in a fire, burns, or electric shock if you use the device with dust present.
- Make sure to securely insert the USB cable to the receiver. This may result in a fire, burns, or electric shock if the cable is not securely inserted.
- When removing the USB cable from the receiver, do not apply excessive force such as by pulling on the cord, but remove it by holding the connector. Pulling on the USB cable may damage the cord and result in fire, burns, or electric shock.
- When removing or inserting the USB cables from or to the receiver, do not apply excessive force such as by pulling on the cord, but remove or insert the cable straight out of or into the port. Failing to correctly remove or insert the cables may result in a fire, burns, injury, or electric shock.
- If the terminal is bent or deformed, immediately stop using the device. Do not attempt to fix the deformation as it may cause a fire, burn, injury or electric shock due to short-circuit of the port.

- If not using the device, remove the USB cable from the connected device. Leaving the USB cable plugged in may result in fire, burns, or electric shock.
- If the device is exposed to liquids such as water (e.g. drinking water, sweat, seawater, urine of pet animals), immediately remove the USB cable from the connected device. A short circuit caused by attached substances may result in fire, burns, or electric shock.
- Remove the USB cable from the connected device before cleaning the device. Failure to do so may result in fire, burns, or electric shock.

Note

- Do not use the device while damaged. This may result in a fire, burns, or injury.
- Do not use or store the device in locations with high humidity or dust or in locations that reach high temperatures. This may result in a fire, burns, or electric shock.
- If the device is to be used by children, their guardians must teach them how to use it correctly, and must prevent them from using it incorrectly. Otherwise, it may result in accidental ingestion, injury, or electric shock.
- Do not place the device in a location within the reach of infants and pets. Otherwise, it may result in accidental ingestion, injury, or electric shock.

Notes on use

- If the connection with the sensor is unstable, turn off any unused Wi-Fi® routers or Bluetooth devices. If the connection remains unstable, increase the distance between receivers.
- Keep the receiver away from the computer. Placing it near metallic objects, including computers, may cause unstable connection.
- In a wide space, the connection may become unstable. In this case, move the receiver closer to the sensor.
- The receiver and USB cable are not waterproof.
- When setting up the receiver, be careful with the USB cable placement. Especially when placing the USB cable on the floor, take care to avoid tripping over or stepping on the cable. Depending on the place of use, it is recommended to temporarily fix the USB cable with tape or other means.
- If the computer fails to recognize the sensor, check the following:
 - Use the supplied USB cable.
 - Make sure that the cable is properly connected.
 - Check the USB cable for any damage or defects.
 - The use of USB hubs is not recommended.
- If the receiver's LED lights up in red, remove the USB cable from the computer and insert it again. If the condition persists, contact the Customer Support.
- Data communication may become unstable when the computer is under heavy load.

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment must be installed and operated keeping the radiator at least 20cm or more away from person's body.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The supplied interface cable must be used with the equipment in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Part 15 of FCC Rules.

For question regarding your product or for the Sony Service Center nearest you, call 1-855-806-8464.

Supplier's Declaration of Conformity

Trade Name : SONY

Model : QM-PR1

Responsible Party : Sony Electronics Inc.

Address : 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.

Telephone Number : 858-942-2230

For customers in the United States

Owner's record

The model and serial numbers are located on the Sensor data receiver. Record the serial number in the space provided below. Refer to them whenever you call upon Sony Customer Support regarding this product.

Model No. _____

Serial No. _____

Other Information

The nameplate indicating operating voltage, etc. is located on the bottom exterior.

Trademarks

- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sony Group Corporation and its subsidiaries is under license.
- Product and company names mentioned herein may be the trademarks of their respective owners. In the main text, ™ and ® marks are not noted.